

令和6年度 第4回 大庭と小糸みんなの学校運営協議会 会議録

開催日時 2025年2月27日（木）10時00分～13時30分

<p>場所 藤沢市立小糸小学校</p>	<p>細沼 恵美子（大庭と小糸みんなの学校運営協議会会長／湘南大庭地区子どもサポート会議会長）                  小澤 明雄（副会長／藤沢市立大庭中学校 校長）                  堀部 恵（副会長／藤沢市立大庭小学校 校長）                  松川 裕子（副会長／藤沢市立小糸小学校 校長）                  大塚 真奈（湘南大庭市民センター センター長）                  綾部 幸恵（大庭小学校保護者）                  金田 久美子（小糸小学校保護者）                  持川 和道（藤沢市社協地域福祉課 湘南大庭）                  森 もと江（湘南大庭民生委員児童委員協議会 会長）                  大竹 貞代（藤沢若葉幼稚園 園長）                  土屋 広美（地域子どもの家ちびっ子ドーム）                  人見 甲子郎（NPO 法人森の仔じゅうがっこう 大庭学習教室教室長）                  飯島 広美（元藤沢市教育委員）                  井地 洋平（社会福祉法人光友会 ライフ湘南 所長）</p>
<p>出席委員等</p>	<p>-----                  出席委員：14名（欠席委員：2名）                  事務局：大村 裕美子（藤沢市立大庭中学校 教頭）                            宮本 一也（藤沢市立大庭小学校 教頭）                            上村 辰男（藤沢市立小糸小学校 教頭）                  その他出席者：0名                  傍聴人数：0名                  オブザーバー：教育総務課（近藤）</p>
<p>次第</p>	<p>第1部                  1. 開会                  2. 会長挨拶                  3. 議題                      (1) 学校評価アンケート（中学校）                          学校づくりアンケート（小学校）について                      (2) 次年度に向けて（各委員から、各校の分析結果について委員の意見及び今年度の振り返り）                      (3) その他                  4. 閉会                  第2部                  1. 校内見学・授業参観                  2. 給食試食</p>
<p>協議内容</p>	<p>学校づくりアンケート（小学校）、学校評価アンケート（中学校）について大庭中（小澤校長）                  それぞれの質問項目に対し、「そう思う・だいたいそう思う」の回答比率が保護者よりも生徒の方が高い結果となった。「そう思わない・あまり思わない」と回答した生徒について、助言や支援など、取りこぼしのないよう配慮が必要。</p>

#### 大庭小（堀部校長）

「学校が楽しい」と回答した児童は90%程だが、「楽しくない」と感じている児童が10%程度となり、1人1人を見る必要がある。また、相談相手の対象について、スクールカウンセラーとの回答があったが、ニーズが高い反面、週1日（隔週2日）の配置のため、予約が常に埋まっている状態なので、来校日数を増やしてほしいと市教委に要望をしている。

#### 小糸小（松川校長）

昨年度、3・5年生の児童、2・4年生の保護者に実施したが、今年度は児童・保護者ともに2・3・5年生児童と保護者に実施した。また、項目の表記も分かりやすくした。

回答内容から児童は元気で明るく毎日の学校生活を送っていることが分かり、本校教職員も工夫して授業している。一方で、主体的に取り組むことに関する項目は他の項目と比べポイントが低く、自分からコミュニケーションをとることが苦手な子が多いことが結果から分かった。実際にあいさつで声をかけると答えず視線を落として取りすぎる子もおり、あらためて、学校で取り組んでいきたいと思う。

#### 各校の分析結果について委員の意見（今年度の振り返りも含む）

- ・先を見据えた視野をもって参加した。支援級とのつながりに福祉サービスや障がい者施設を活用してほしい
- ・先生方への労いの言葉が少なく感じた。様々なニーズに応えるべく先生方は日々苦慮されている。大人も子供も語彙力が不足していると感じる。言葉の重要性を伝え、子どもたちに適切な言葉遣いを教える必要がある。
- ・地域の防犯意識について懸念がある。防犯力を高めるには情報の伝達力が必要。
- ・学校の課題を明確にし、地域と協力して解決策を見つける必要がある。特に、保護者や地域の声を反映させることが重要。
- ・元気な家庭が多い一方、様々な問題、困り感を持つ家庭も多い。その中で育つ子どもたちについて、学校にも家庭にも相談ができない子が埋もれない地域になればと思う。
- ・学校評価アンケートの回答期間が短く、十分な回答が得られなかったことについての懸念が示された。より多くの時間が必要である。
- ・学校でのアンケート結果を教職員がどの程度議論に活用しているか疑問がある。また、批判的な回答だけにとらわれず、良い評価にも目を向けて捉えてほしい。
- ・子どもたちは言葉を使い分けており、言葉遣いだけで判断できないのが現状。保護者や教師が子どもたちとコミュニケーションを取り、言葉の使い方を教えることが重要だと思う。来年度、この場で意見交換ができるといい。
- ・学校は丁寧に発信してくれている。保護者からも応えるように発信することが必要だろう。そのようにして子どもを多角的に見られるようになるといい。
- ・学校の負担を減らすために、地域や家庭でできることを考え、支援を行うべき。

#### その他

##### 事務局より

- ・学校評価（づくり）アンケートのご意見を求めるため、資料提供をPDFのデータでの提供と google Forms での回答を求めたが、方法として適切だったか。資料を紙媒体での提供の方がよかったか。（回答）郵送での資料提供だと有難い。（2件）

- ・今年度の卒業式のご参列についての確認。

人見委員より（不登校問題に関する勉強会 内容の報告）

不登校は子ども・保護者が抱える様々な困り感の中の1つである。

不登校は表面に現れた形なので、「不登校の支援」というものはない。その子の何が要因で不登校に至ったのか、その根本を家庭が把握して考えることが必要だ。こそからできることをひとつひとつしていくことが支援となる。

会長より（次年度の「みんコミ」について）

- ・学校スクールカウンセラーの予約が取りづらいことを受けて、困り感を持つ子どもたち、保護者の相談窓口として受け皿となるような場が必要だと感じる。
- ・みんコミは年間4回だが、それ以外に学校の先生方を含めて意見交換会を設けたい。
- ・施設見学（幼稚園やちびっこドームなど、学校施設以外）も取り入れたい。
- ・来年度は学校や委員の方々から課題を抽出して取り上げたい。
- ・来年度の開催日時は学校行事を考慮して、3校の学校長に委ねたい。

以 上